

平成 27 年 9 月 26 日

報道機関 関係者各位

学校法人東京農業大学戦略室

文部科学省 平成 27 年度「大学の世界展開力強化事業」 東京農大の取り組みが**私大単独申請で唯一採択**

東京農業大学（東京都世田谷区桜丘 1-1-1、学長：高野克己）が、学術交流協定を結んでいる中南米 3 カ国の 4 大学との間で展開する「中南米地域における食・農・環境分野の実践的な専門家育成事業」（平成 27 年度～31 年度）が、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業～中南米等との大学間交流形成支援～」に私大の単独申請では唯一採択されました。

採択事業の概要

「中南米地域における食・農・環境分野の実践的な専門家育成事業」は、東京農業大学と海外協定校のうち中南米の農学系大学との連携を強化しながら、既に実施している交換留学プログラムに加えて、農学系インターンシップを行い総合的実学教育プログラムを実施する取り組みです。中南米地域で活躍できる開拓（開発）型グローバル人材を育成し、持続的な食料生産をめざす日系企業並びに農林水産業による起業家の実業を支援します。

＜中南米地域の本学協定校＞

ラ・モリーナ国立農業大学（ペルー 1996 年協定締結）

サンパウロ大学（ブラジル 2001 年協定締結）

チャピング自治大学（メキシコ 2001 年協定締結）

アマゾニア農業大学（ブラジル 2013 年協定締結）

東京農大の国際化

東京農大は、平成元年（1989 年）には国際交流センター（現：国際協力センター）を設置し、国際教育研究活動を一元化し推進してきました。現在、26 カ国・地域の 33 大学の協定校と教育研究面での協働活動を展開しています。

平成 13 年（2001 年）には創立 110 周年を記念して、東京農大と協定校の学生の国際会議「新世紀の食と農と環境を考える世界学生サミット」を開催。昨年 9 月にはタイ国カセサート大学で開催され、世界の農学系大学 29 校が一堂に会する世界でも例を見ない国際農学教育プログラムに成長しました。第 15 回となる今年は、10 月 1、2 の両日、東京農大で開催されます。

また、今年 5 月時点で 29 カ国・地域から 221 人の留学生が在籍しています。半年から 1 年未満本学に留学する交換留学生（Visiting Students）は毎年 10 人程度在籍し、主に「英語による専門教育プログラム」を受講しています。

●この件に関するお問い合わせ●

学校法人東京農業大学戦略室 上田・園部

〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1 Tel03-5477-2300/Fax03-5477-2707

www.nodai.ac.jp